

平成27年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成28年 月 日

研究・研修課題名	日本医療社会福祉協会「スーパーバイザー養成認定研修」受講
研究・研修組織名（所属）	医療サービス課
研究・研修責任者名（所属）	医療サービス課課長 林 元 之
共同研究・研修者名（所属）	医療サービス課 春日みゆき

目的及び方法、成果の内容

① 目 的

地域包括ケアを推進していく中で、県内唯一の大学病院に求められる役割は大きい。医療ソーシャルワーカーは地域との連携の橋渡しとして重要な役割を担う。平成26年の診療報酬改訂で7対1看護体制では在宅復帰率75パーセントが要件であったが、平成28年の改訂では在宅復帰率80%に引き上げになった。医療ソーシャルワーカーがいかに在宅復帰を促進していくかが大事である。医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が退院調整や患者サポートに関わることで、平成26年度は退院調整等で307,450点、患者サポート等で813,750点診療報酬が算定できている。診療報酬のみならず、早期退院調整を行なうことで、軽度者の退院を促進し、看護必要度に大きな影響をもたらすことになる。今後はさらに質の高いソーシャルワーク実践が求められている。スーパーバイザー養成認定研修を受講することで、ソーシャルワーカーのスキルアップが図れ、後輩ソーシャルワーカーや学生実習指導のスーパービジョン体制を構築でき、質の高い退院調整や患者相談対応が可能となる。

②方 法

日本医療社会福祉協会「スーパーバイザー養成認定研修」受講。

平成27年8月8日（土）～9日（日）

プログラム

1. ソーシャルワークにおけるスーパービジョン体制
2. 包括的スーパービジョンモデル
3. 組織におけるスーパービジョン体制の意義（演習）
4. スーパービジョンの様式・形態・課題（ロールプレイ）
5. スーパービジョンのためのリソース理論・方法・スキル（講義・演習）
6. スーパービジョンにおける倫理的配慮
7. スーパービジョンのトレーニングシステムの構造とダイナミクス（演習）
8. スーパービジョンの効果的実践
9. 各自のスーパービジョンモデルの計画
10. グループ討議・発表

事前課題及び事後レポート

③結 果

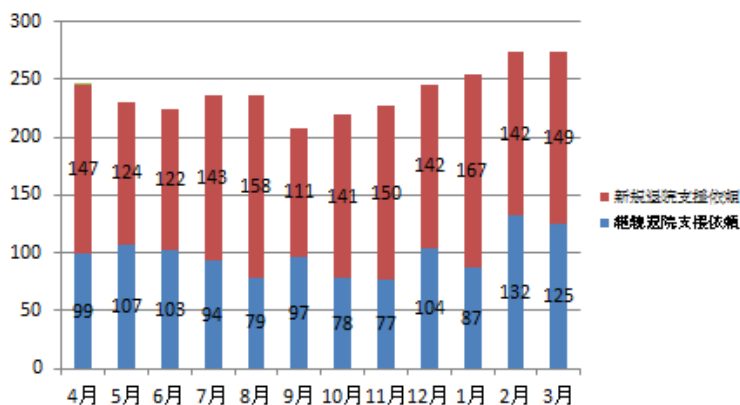
研修を受講し、スーパービジョンは、組織として考える必要があることが理解できた。スーパービジョンは、マイクロレベルだけではなく、メゾレベルまで引き上げるなど、構造化されたものであることがよく理解できた。スーパービジョンは、援助者の専門的実践についての指導・調整・教育・評価する立場にある機関の管理運営責任を持つ職員が行うもので、スーパーバイザーとの信頼関係を基底にその人の仕事を管理し、教育し、指示することによって専門家としての熟成を図るものである。スーパーバイザーの究極の目的は、機関の方針と手続きに従って、利用者へのサービスが量的・質的に最高の水準となるように取り組むことである

考えられる研修の効果としては以下の通りである。

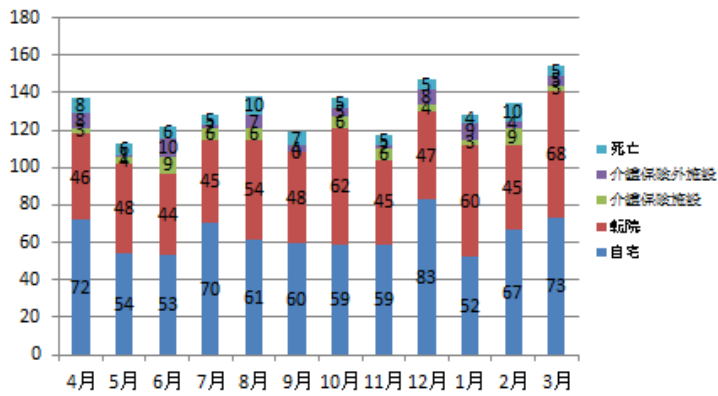
- ① スーパーバイザー養成認定修を受講することにより、ソーシャルワーカーの力量向上を図ることができる。引いては、患者・家族の満足度の高い退院調整や相談対応につながる事が期待できる。
- ② 後輩ソーシャルワーカーや社会福祉士援助実習の学生にスーパービジョンを行なう体制ができ、教育や指導に役立つなど人材育成ができる。
- ③ ソーシャルワーカー全体がスキルアップすることで、困難事例対応や地域連携での大事な役割を担うことができるようになる。
- ④ 業務遂行能力が高まることにより、平均在院日数短縮や診療報酬増加になり、組織に貢献できる。
- ⑤ 研修者個人としては、認定社会福祉士（医療分野）の認定を受けることができた。認定社会福祉士とは、社会福祉士及び介護福祉士法の定義に定める相談援助を行う者であって、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいう。役割としては、複数の課題のあるケースへの対応、職場内のリーダーシップ、実習指導、地域や外部機関との窓口、緊急対応、苦情対応、他職種連携、職場内コーディネートなどが求められている。今後は認定社会福祉士として、貢献していく予定。

平成 28 年度退院調整の実績

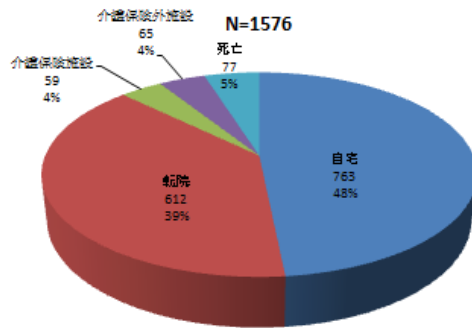
退院支援依頼件数の月別推移



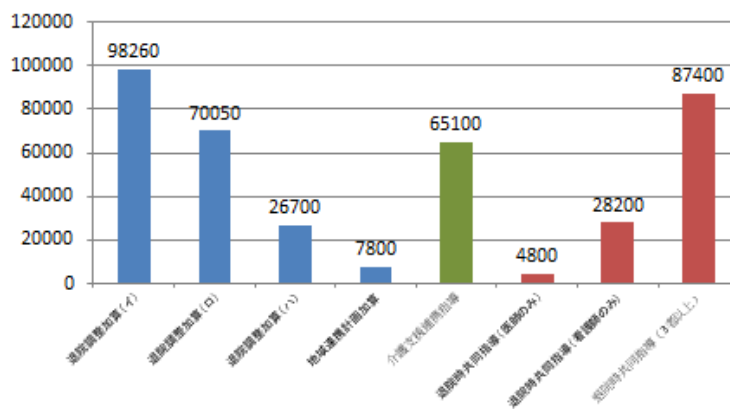
支援対象者の退院先月別推移



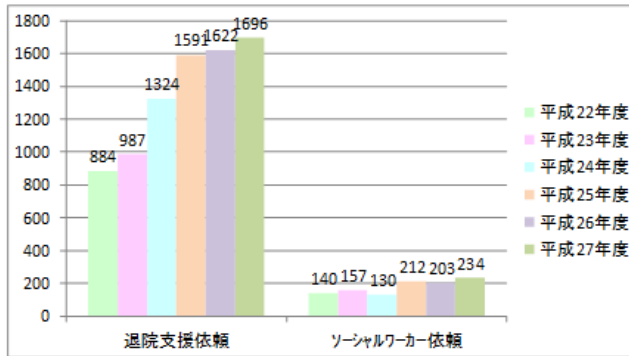
退院支援対象者の退院先



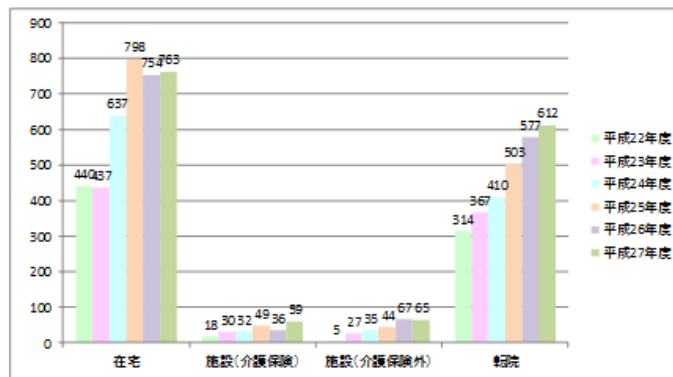
退院調整にかかる各種加算(点数)



新規退院支援・ソーシャルワーカー依頼件数 (平成22～27年度の比較)



退院先内訳 (平成22～27年度比較)



退院調整に係る各種加算点数 (平成22～27年度比較)

